付金は増

7月4日に開催された平成30年度の事業報告および収入支出決算報告が

健保連) が発表した 「平成31年度健保組

万3千

円多い

9 6 9

8万4千

4

また、

金は支出全体の39%を占めており、

依然とし

至といわれています。 増えます。そのため納付金への拠出額増加が必 齢者になり始め、 さらに2022年からは団塊の世代が後期高 厳しい財政状況の要因としては、 後期高齢者数が毎年4%ずつ

切な健康保険組合をこれからも維持していくた 何よりもご自身とご家族のために、 健康管理への意識を高めて そして大 療への過重な納付金の負担があげられます。 です。平均保険料率は12年連続で上昇していま 経常収支の差引額は986億円になるとのこと の6割を超える856組合が赤字予算を編成し、 合予算早期集計結果の概要」によると、 健保組合の全国組織である健康保険組合連合会

第7回組合会において承認されました。

高齢者医 全組合

当健保組合の平成30年度決算状況につきま 保 険

しては、 めに積立金を取り崩して繰り や一時金などに充てられる保険給付費は、 した。支出に対して不足する収入額を補う 収入面では、 05万7千円多い2億269 経常収支で赤字となりました。 支出面については、 健康保険収入は前年度より 保険給付費は、前皆さんの医療費 入れました。 0万2千 闬 た で

負担している納付金は、 7千円でした。 高齢者医療制度を支える財源として 1432万4千円少ない9345万 前年度より

て大きな財政的負担となっており をはじ め疾病予防に注力しま]を執行

した。

以上の結果、 平成30年度決算も経常収支で

保 険

万6千円、支出2418万6千介護勘定の収入支出決算は、 万円でした。 収入 2 5 額 2

収支差引額 1,391万9千円 経常収支差引額 △974万1千円

平成30年度

収入支出の決算概要

一般勘定

決算額

2億2,690万2千円

325万1千円

376万6万円

493万5千円

2億6,274万8千円

2億3,583万7千円

決算額

3,788万9千円

9,345万7千円

9,336万1千円

9,698万4千円

4,576万4千円

5,077万2千円

1,560万1千円

44万8千円

2万9千円

325万1千円

44万1千円

79万1千円

38万6千円

2億4,882万9千円

2億4,557万8千円

9万6千円

93万円

2,296万4千円

●収入

繰入金

雑収入

●支出

事務費

納付金

保険給付費

保健事業費

還付金

連合会費

積立金

雑支出

(法定給付費

¹ 付加給付費

健康保険収入

調整保険料収入

国庫補助金収入

財政調整事業交付金

合 計

経常収入合計

科目

前期高齢者納付金

後期高齢者支援金

退職者給付拠出金

財政調整事業拠出金

合 計

経常支出合計

科目

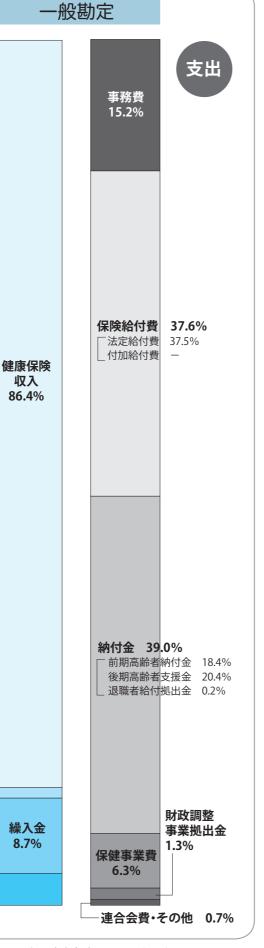
介護勘定

●収入

科 目	決算額
介護保険収入	2,188万5千円
繰入金	307万5千円
国庫補助金受入	30万3千円
雑収入	3万3千円
収入合計	2,529万6千円

●李出

ХШ	
科目	決算額
介護納付金	2,418万1千円
介護保険料還付金	5千円
支出合計	2,418万6千円



平成30年度決算 収支の割合

収入

調整保険料 収入

国庫補助金

事業交付金•

1.2%

収入・

雑収入

3.7%

財政調整